



学校だより

〒952-1311 新潟県佐渡市八幡 2002 番地

Tel 0259-57-2602 Fax 0259-57-2604 <http://yahata-es.sado.ed.jp/>

あえて困難を選ぶ・中村修二

校長 渡部 栄二

あけまして、おめでとうございます。平成27年。新しい年のスタート。八幡小職員は、新しい教育づくりに取り組む決意です。ご支援とご協力をお願いいたします。

さて、冬休みにだれか先人の話題があったでしょうか。3学期の始業式は、こんな人を話題にしました。



これは何でしょう。光っている部分には、何が入っていると思いますか。

(LEDの懐中電灯を見せる) これは「発光ダイオード」または「LED」と呼ばれるものです。電球と比べて消費電力が10分の1という、画期的なものです。(LEDの製品を説明) 少しの電力で明るく光るので、今まで電灯のなかった貧しい国でも、夜明るく生活できるようになりました。中でも青色のLEDは、家庭の電灯、大画面テレビやパソコンの画面、みなさんがお世話になっているゲーム機の画面など、なくてはならないものです。今後、宇宙ロケットや宇宙ステーションは青色LEDなしでは作れないと言われていました。

ところが、今から20年前は、この青色をLEDで出すことは、世界中の誰にもできませんでした。赤や緑に比べて、つくるのが格段に難しいのです。20世紀中の完成は無理と言われていました。ところがそれをやり遂げた人がいます。どこの国の人だと思いますか。

そう、日本です。中村修二さんという徳島県にある中小企業の会社員だった人です。普通、研究はチームで行います。中村さんの研究チームは何と、たった1人でした。研究のためのお金も、会社からほとんどもらえませんでした。青色LEDなんて、絶対つくることができないと、会社の誰もがあきらめていたからです。

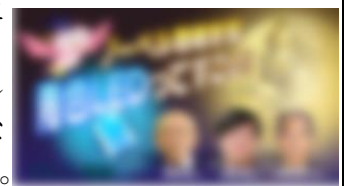
中村さんは、工場に転がっている部品を拾って、実験装置を自分で作りました。そして、毎日毎日実験し、毎日毎日失敗を続けました。実験装置が壊れても、直すお金はありません。修理は自分でやったのです。それを見た会社の人たちは、かわいそうに思いながらも「お前なんかにはできるわけではない」とあきらめていました。

さて当時、青色LEDをつくる材料には2つの候補がありました。1つは「セレン化亜鉛」もう1つは「窒化ガリウム」です。誰もが可能性が高いと認めるのが「セレン化亜鉛」。それに対して、重大な欠点があり、誰もがダメだと考えていたのが「窒化ガリウム」でした。中村さんは、何と誰もが駄目だと思っていた「窒化ガリウム」を材料に選んだのです。中村さんは、こう考えたのだそうです。「人と同じことをやってもだめだ。誰にもできないことをやってやろう。楽なことをやっても、誰も見向きもしてくれない。大企業と同じものを作っても、大企業には決して勝てない。」

結局、多くの研究者や大企業が取り組んだ「セレン化亜鉛」を使った青色LEDの方が、早く成功しました。しかし、セレン化亜鉛には、致命的な欠点があることがわかったのです。それは、「寿命が短い」ということです。セレン化亜鉛で作ったLEDは、10秒しか持ちません。ところが、中村さんの窒化ガリウムLEDは、1000時間も光り続けたのです。

(ノーベル賞を説明) 周りの人から、できるはずがないと言われてもあきらめず、より難しい方法に挑戦し続けた中村さん。あきらめたり楽な方法を選んだりせず、挑戦し続ける生き方は、カッコイイですね。

あなたは、例えば寒いから二度寝する楽な生き方と、歯を食いしばってでも早起きする厳しい生き方。どちらを選びますか？どんな3学期にしたいか、今日、先生や友だちと話し合ってみてください。



短い3学期。困難に負けず、自分の力を伸ばして進級・進学してほしいと願っています。

平成26年度後期 学校評価アンケート児童 結果

○各段階の%と得点化した平均です。 ↑は、前期より5%以上増加。 ↑は0.1ポイント以上向上

No.	評価項目	26年度前期児童					26年度後期児童				
		4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均
1	授業で学習していることが分かる。	78%	20%	0%	2%	3.8 ↑	80%	16%	4%	0%	3.8
2	家庭学習は、計画を立てて、決めた学習をやりとげることができた。	67%	25%	4%	4%	3.6 ↑	72% ↑	23%	5%	0%	3.7 ↑
3	佐渡や地域の学習で調べ、まとめ、佐渡や地域を好きになることができた	73%	25%	2%	0%	3.7	82% ↑	18%	0%	0%	3.8 ↑
4	学校は楽しいと感じる。	89%	9%	2%	0%	3.9 ↑	89%	11%	0%	0%	3.9
5	友だちに思いやりをもって接したり、やさしい言葉がけをしたりすることができた。	82%	16%	2%	0%	3.8 ↑	80%	16%	4%	0%	3.8
6	すすんで運動をしている。	75%	21%	4%	0%	3.7	72%	19%	7%	2%	3.6 ↓
7	早起きをして、朝ごはんをしっかり食べている。	67%	27%	2%	4%	3.6	70%	26%	4%	0%	3.6

2学期がんばった内容（抜粋）

- 1年：1つ目はマラソン大かいです。れんしゅうでも力をだしきってがんばりました。女子のぶで1いになれてうれしかったです。2つ目はこくごのべんきょうです。日づけとよう日のかん字をかいたりよんだりできるようになりました。字をていねいにかくこともがんばりました。…
- 2年：1つ目は、生活のおもちゃランドです。1年生をしょうたいするためのじゅんびをがんばったからです。「たのしかったよ」と言われてうれしかったです。2つ目は、学習はっぴょう会です。…本ばんも大きな声ではっぴょうできてよかったです。…
- 3年：2学期に学んだことは「一生けんめいやると、いいことがある」ということです。1つ目は、書き初めをがんばったことです。…2つ目は、会社活動をがんばったことです。…3つ目は、みんなで遊ぶ日を、なかよくできたことです。…
- 4年：2学期に学んだことは「あきらめなければ、最後はできる」ということです。1つ目は、さか上がりができたことです。去年は一度もできませんでした。今年はじゅぎょうだけでなく休み時間もたくさんれん習しました。…2つ目は、文化祭のことです。はじめは声が小さかったり急いでしゃべったりしていました。でも、がんばってれん習して言うことをおぼえたら、とてもいいげきになりました。…
- 5年：1つ目は、陸上大会です。練習は、毎日ありました。グラウンド一周を何秒で走るか決めて、その目標時間以内に走るという練習がすごくきつかったです。陸上大会本番では、大会新記録はだせたけど、6年生の大会記録まではいけませんでした。…2つ目は、遊び方です。遊び方で友達とケンカしたことが何度かありました。気をつけるのは、相手の気持ちです。それを考えることで、ケンカがなくなると思いました。…
- 6年：1つ目は、早寝早起きです。そうしないと、何をしてもやる気がでてこないからです。特に早起きをがんばっていました。9月～11月は6時半までに起きられました。…冬休みも、6時半までに起きたいです。2つ目は、朝ごはんです。…2学期は、ほぼ毎日食べることをがんばりました。3つ目は、漢字です。…2学期は、とめ・はね・はらいをよく注意して漢字を覚えてきました。その結果、漢字テストでいい点がとれました。…

お知らせ



2年担任、小柳由紀子が2学期末をもって産休に入りました。3学期からは中村亜佐子先生が2年生の担任になります。これまでと変わらぬ、ご支援・ご協力を、よろしく願いいたします。

平成26年度後期 **学校評価アンケート保護者 結果**

○各段階の%と得点化した平均です。

No.	評価項目	26年度前期 保護者					26年度後期 保護者				
		4	3	2	1	平均	4	3	2	1	平均
1	学校は、授業を工夫し、子どもに国語・算数・理科・社会等の力をつけている。	41%	59%	0%	0%	3.4	36%	61%	3%	0%	3.3
2	学校は、子どもや家庭への働きかけを通して、家庭学習の習慣化を図っている。	52%	45%	3%	0%	3.5	55%	42%	3%	0%	3.5
3	学校は、地域の学習を推進し、郷土を愛し誇れる子どもを育てようとしている。	39%	55%	6%	0%	3.3	46% ↑	46%	8%	0%	3.4
4	学校は、いじめ・不登校の早期発見・早期対応に努め、子どもに学校生活を楽しく、安心して過ごせるようにしている。	58%	42%	0%	0%	3.6	57%	35%	5%	3%	3.5
5	学校は、友達に思いやりをもって接したり、優しい言葉がけをしたりできる子どもを育てている。	67%	33%	0%	0%	3.7 ↑	53% ↓	41%	3%	3%	3.5 ↓
6	学校は、体育授業や運動の日常化を通して、子どもの体力向上を図っている。	76%	24%	0%	0%	3.8 ↑	60%	35%	5%	0%	3.5 ↓
7	学校の働きかけに協力し、家庭でも「早起き・朝ごはん」の習慣を身に付けさせている	64%	36%	0%	0%	3.6 ↑	41% ↓	54%	5%	0%	3.4 ↓

保護者の意見の主な内容

- 学校が楽しく、勉強も好きようです。先生方には、やる気を引き出していただいて感謝しています。
- 先生方全員が児童をよく見ていただき、とてもありがたいです。これからもよろしくお願いいたします。
- いつも子どもたちを温かく見守り、ご指導くださる先生方に感謝しています。楽しそうに毎日先生や友だちの話をしてくれます。そんな姿に、友だちや先生方がどのように子どもに接してくださっているのかよく分かり、安心しています。いつも、ありがとうございます。
- いつもお世話になっております。学校での様子を楽しそうに話してくれるので、安心して送り出せています。今後もよろしくお願いいたします。
- 以前は天候により早く帰宅させる時はメール連絡がありましたが、今は中止しているのでしょうか。予定外の早い帰宅には、連絡いただけると助かります。
- 学校で起きたケンカなどは、すみやかに保護者に連絡して、今後このようなことが起きないようにお願いします。両方の家庭に事実を伝えてください。子どものためにお願いします。子どもは親を見ている。そして、先生方も見えています。
- 教務室の雰囲気、なみなな感じを受けます。それぞれの職務で線引きをきちっとしながら、職務を全うしていただきたいです。子ども間にトラブルが発生した際は、悪いことは悪い、良いことは良いと、大人が毅然とした態度をとることが大切だと思います。保護者が不安を訴えた際には、もっと早期に真摯に対応し、事後報告をお願いしたいです。



平成26年度後期 学校評価アンケート3者評価比較
 ↑前期より向上 ↓前期より下降 (児童0.1・保護者0.2・職員0.2ポイント以上)

No.	評価項目	児童	保護者	職員	結果・分析
1	授業を工夫し、子どもに国語・算数・社会・理科等の力をつけているか。	3.8	3.3	3.4	保護者はやや下降したが、児童・職員は前期と変わらない。80%の児童が4評価をしている。
2	子どもに家庭学習の計画をやりとげられるよう指導・支援をしているか。	3.7 ↑	3.5	3.6	前期同様、高い満足度を維持している。児童の1評価がいなくなった。
3	子どもに、郷土を愛し誇れる学習を行い、まとめる力をつけているか。	3.8 ↑	3.4	3.5 ↑	3者とも評価が向上した。82%の児童が4評価をしている。
4	いじめや不登校の未然防止に努め、子どもが楽しく安心して過ごせる学校にしているか。	3.9	3.5	3.5	前期同様、高い満足度を維持している。保護者に1・2評価があることに留意したい。
5	子どもに、友達に思いやりをもって接し、優しい言葉掛けができるように指導しているか。	3.8	3.5 ↓	3.5	児童・職員は高いが、保護者は下降。1・2評価があることに留意したい。
6	体育授業の充実や運動の日常化によって、子どもの体力向上が図れるようにしているか。	3.6 ↓	3.5 ↓	3.4 ↓	3者とも評価が下降した。児童に1・2評価があることに留意したい。
7	学校と家庭の連携によって、「早起き・朝ごはん」の習慣が定着するよう指導しているか。	3.6	3.4 ↓	3.3 ↓	保護者・職員が下降した。どちらも4評価が減少したのが要因である。

比較した成果

- 児童は、運動以外は前期よりさらに高評価になった。
- 保護者は前期が例年にない高評価だったため下降に見えるが、3.2以下の評価はない。
- 職員も、前期の高評価から元に戻った。郷土学習はこれまでにない高評価である。
- 3者を比較すると「安心・思いやり」がそろって高い。大きな食い違いも見られない。



比較して検討したい内容

- 児童は「家庭学習・郷土学習」が過去最高！「運動」はなぜ下降したのか？
- 保護者は「安心・思いやり」に1・2評価があった。どのように信頼を回復するか？
- 職員は「生活習慣」が昨年並みの評価に戻った。前期から何が変わったのか？
- 3者とも下降したのは「運動の日常化」。マラソン大会や体力テストの盛り上がり維持するにはどうすればよいのか？

課題と改善策

- ・ 3者とも下降した「運動の日常化」を向上するにはどうすればよいのか？
- ・ 保護者の信頼を回復し、児童に安全・安心な学校を保証するために、職員の取り組みや指導を、どのように改善していくか。

○次を参考に、「運動への意識」を高める方策を体育部で検討する。

- ・ なわとび練習を前倒しで取り組む。
- ・ 運動に取り組む子をほめるなど、意識を高める働きかけを行う。
- ・ ただし、子どもが自由に遊べる時間も大切にする。

○職員の取組を伝える努力をする。

「伝える内容を工夫」 ・ 事実を確認し、伝える。 ・ 子どもを納得させて伝える。

「伝え方を工夫」 ・ スピードを大切にする。 ・ 直接伝える。(電話・面談)

○保護者とのよい関係を築く。

「誠実な対応」 ・ 公的な立場で丁寧に対応する。 ・ 保護者に共感し、願いをよく聞く。

「子どもとの信頼関係」 ・ 子どもの口から事実が伝わるようにする。

・ 子どもの姿で指導が伝わるようにする。

○職員の対応体制をつくる。

- ・ じっくり聞くゆとりをもつ。
- ・ 複数で聞き取るよう配慮する。
- ・ 担任出張時も、確実に対応できるよう連携する。

